

第2回

Project  
Based  
Learning参加  
無料

岡山版 Project-based Learning 研修 &lt;全4回、各回オムニバス形式&gt;

地元の高校教員等と地域企業の従業員が協働して学びを深めることができると、毎年好評をいただいている「岡山版PBL研修」。3期目となる今年は、過去のBeLive受賞活動を題材に取組のポイントを振り返り、その更なる社会実装に向けたディスカッションを行います。

「将来の変化を予測することが困難な時代」。社会の変化に柔軟に対応し、課題の解決に向けて、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが、ますます求められるようになりました。高校教育でも、「答えのない課題」に取り組むべく、PBLの導入が進んでいます。本研修では、高校教員と地域企業の従業員がPBLを協働で疑似体験し、地域において「答えのない課題」へ取り組む環境づくりを目指します。併せて、高梁川流域圏域内の雇用拡大を図るため、学校と企業が交流を深める場をつくります。

第2回

令和6年 9月20日(金) 16:30-18:30  
16:00 受付開始

会場：倉敷市芸文館 202会議室 (倉敷市中央1-18-1)

探究テーマ 地域の漁業・食文化を次世代へ

事例発表テーマ (おかやま山陽高校様ご協力)

寄島町のクロダイを活用した  
地域活性・食文化復活プラン第4回(2023年度)BeLiveプレゼンテーションイベント  
『特別賞』受賞テーマ

対象者

高等学校教員等・地域企業の従業員 定員 50名

高校  
教員

- PBLの実践に必要な地域企業とのネットワーク構築ができる！
- BeLive受賞事例から、より効果的なPBL実践の要点を学ぶことができる！

企業  
従業員

- 採用PR効果も！？次代を担う若者と、同じ目線で地域課題解決を事業に！
- CSRを超えて、ESG時代の要請に応える新規事業創出を！



## 講師紹介 Lecturer

### E-Quest合同会社 柁野 恵也 氏

倉敷市在住。元Spiber株式会社執行役。  
東京大学法学部卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーにて  
グローバル企業の経営課題解決に従事。  
日本発のスタートアップ企業へ参画(ライフネット生命、  
TOOT等)、プロ経営者としてのキャリアを積む。  
会社経営における組織開発、および自身の子育て経験から  
「国際バカロレア」への関心を深めて英数学館広報部長を  
務めたほか、PBL教育の普及にも取り組んでいる。  
著書に『人生をはみ出す技術』(日経BP)



## PBLとは？

Project-based Learningの略で、  
子どもたちが自ら課題を見つけ、その  
課題を自ら解決する過程を通して、  
課題を解決するために必要な資質・  
能力を身に付ける学習方法のこと。  
「課題解決型学習」とも言います。

## <当日プログラム(予定)>

- 16:00 受付開始
- 16:30 開会
- 16:35 おかやま山陽高校様の事例発表  
(実施ポイント・成果について)
- 17:00 探究テーマ「地域の漁業・食文化を次世代へ」  
の深堀り(班毎に分かれディスカッション)
- 17:40 各班 探究内容の共有
- 18:00 交流会(任意参加)
- 18:30 終了



# Project Based Learning

## お申し込み

お申し込みは、WEBフォーム・メール  
のいずれかで、お願いいたします

お申し込み締切：令和6年9月19日(木)

WEBフォーム

右記コードを読み取って各項目をご記入の上、  
お申し込みください。

メール

**info@txing.jp** 宛にお送りください。  
(件名は「PBL研修」  
本文に所属、役職、氏名、電話番号をご記入ください。)

▼ 第2回申込フォーム ▼



## お問い合わせ先

主催：倉敷市労働雇用政策課  
(TEL：086-426-3415)

受託事業者：株式会社クレビス  
(TEL：086-424-8877(取次専用)、MAIL：[info@txing.jp](mailto:info@txing.jp))